

サステナブルファイナンス有識者会議

北九州GX推進コンソーシアム
支援内容

GX

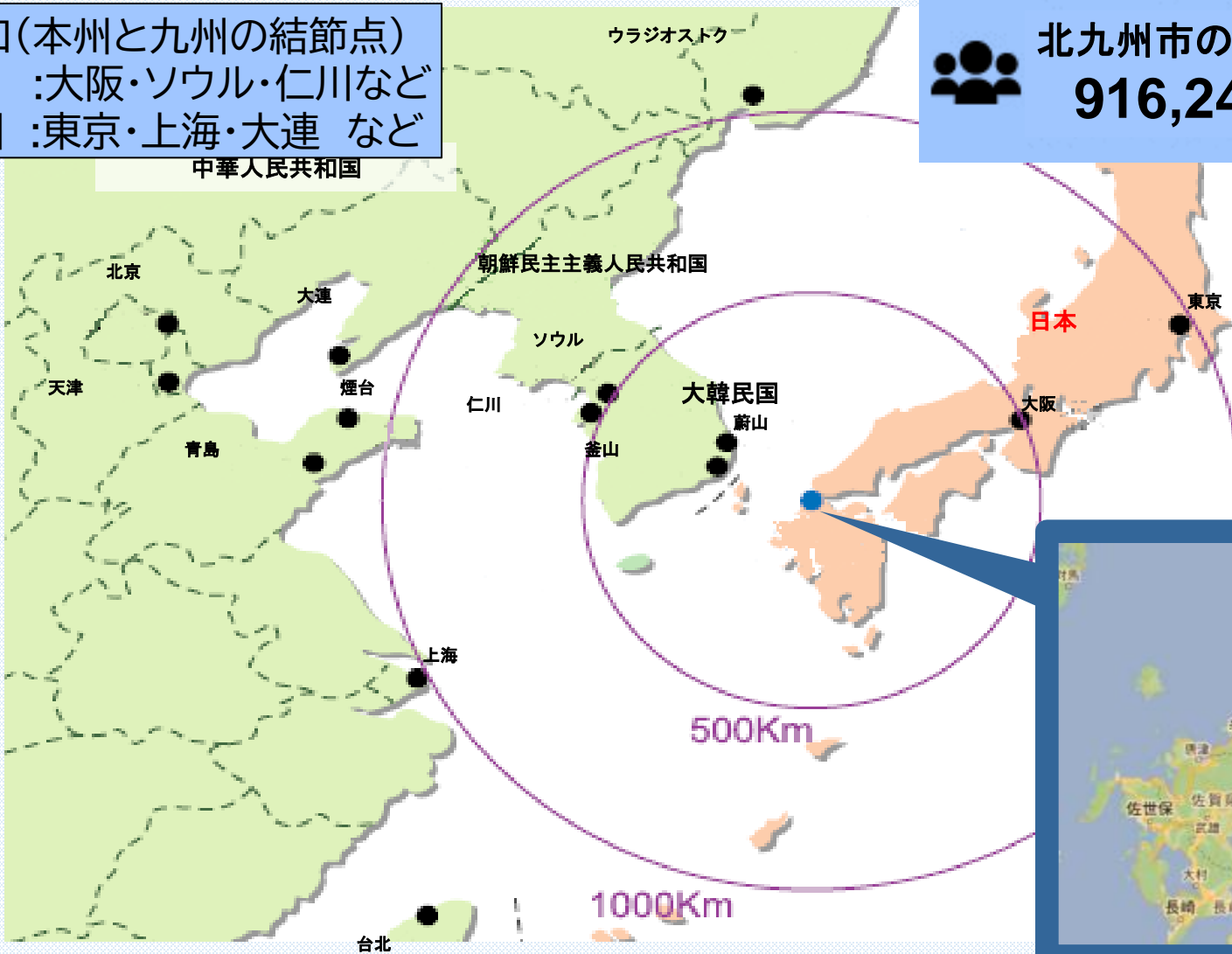
令和6年3月28日

北九州市産業経済局 地域経済振興部長 森永 康裕



北九州市について

- 九州の玄関口(本州と九州の結節点)
- 500km圏 :大阪・ソウル・仁川など
- 1,000km圏 :東京・上海・大連 など



北九州市の人口



北九州市の人口
916,241人



世帯数
438,678世帯

(R5.10.1現在)



ものづくり産業の集積

- 鉄鋼・化学の素材部材産業や自動車メーカーが集積



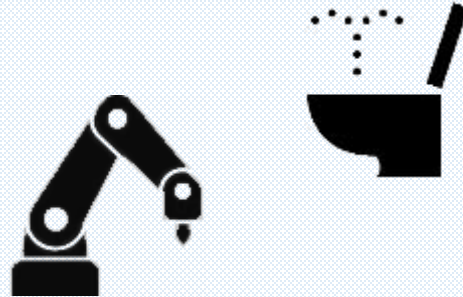
日本製鉄



三菱ケミカル



安川電機



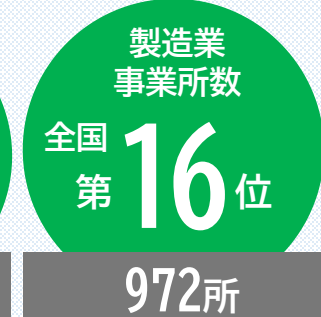
TOTO



トヨタ自動車



日産自動車



※全国1,720市町村中（令和3年経済センサス）

【参考】 苅田町を含めた場合

製造業従業者数 **7位** (6万2,234人)
製造品出荷額 **7位** (3兆4,192億円)
製造業事業所数 **14位** (1,067所)

環境産業の集積

北九州エコタウンは**日本最大級のリサイクル企業の集積**
カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーの実現に貢献



自動車リサイクル



家電リサイクル



ペットボトルリサイクル

北九州エコタウン事業の
これまでの**成果**

集積企業

25社/27事業^{※1}

直接
投資額

累積888億円^{※2}

雇用者数

1,040人^{※2}

※1: 令和5年10月現在 ※2: 令和5年3月現在



廃木材・廃プラスチックリサイクル



二次電池リサイクル

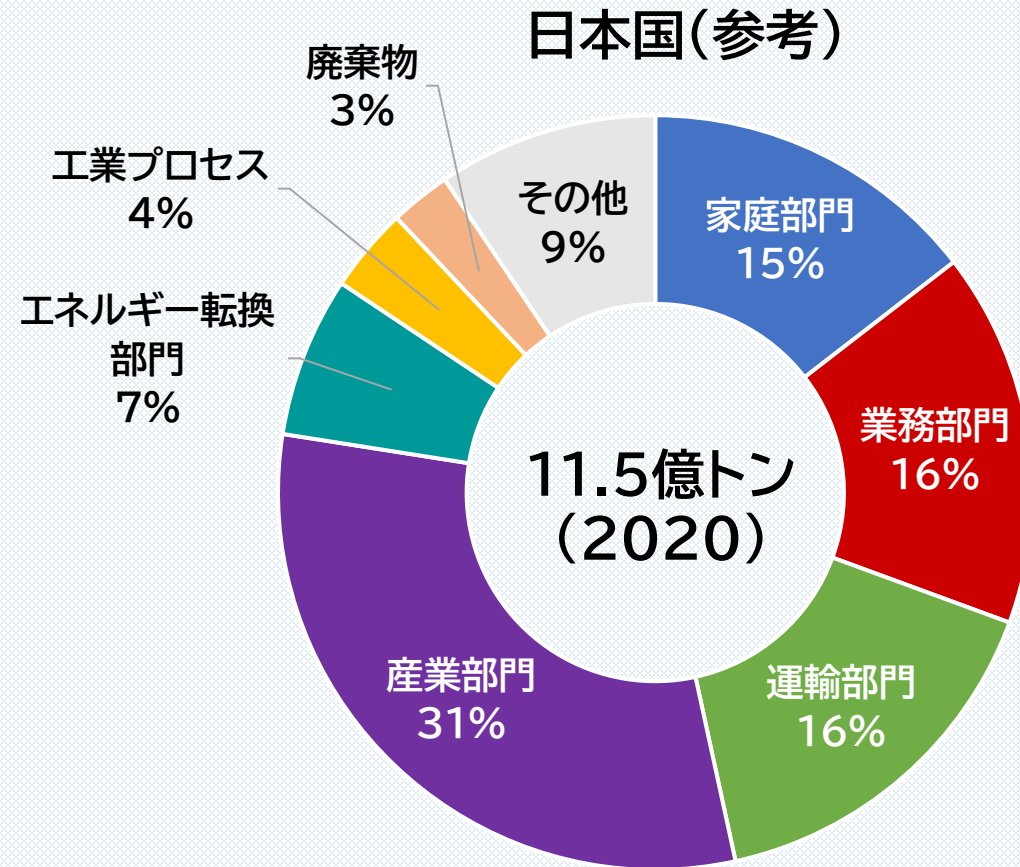
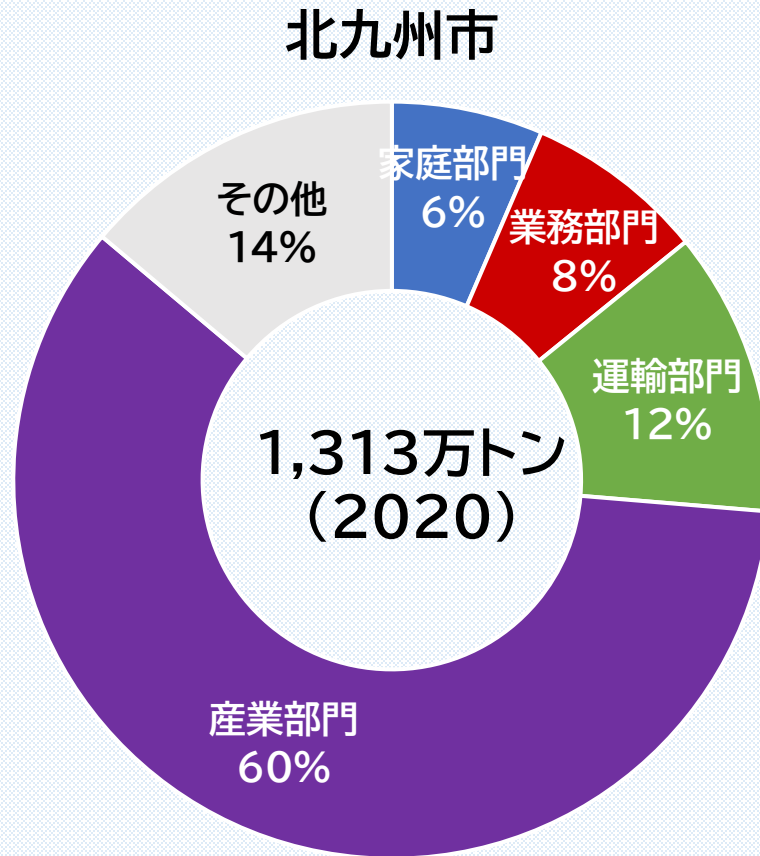


太陽光パネルリサイクル

上記以外にも、食品廃棄物、食用油、古紙、古着、携帯電話、
電子基板、建設混合廃棄物など多様なリサイクル企業が集積

北九州市のGHG排出量（部門別割合）

- ものづくり産業の集積は本市産業の強みである一方、産業部門からの排出が日本全体の割合よりも高い
- 市内排出量の約6割を占める産業部門の脱炭素化が重要



※北九州市「その他」は、エネルギー転換部門、廃棄物部門、工業プロセス部門、メタン、一酸化二窒素、フロンガスの計

出典)国立環境研究所HPより

カーボンニュートラル・GX実現に向けた動き

政府

北九州市

2020

2050年カーボンニュートラル宣言

2021

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

- 成長が期待される14の重点分野について実行計画を策定

2022

北九州市グリーン成長戦略策定

- 2050年ゼロカーボンシティの実現

2023

GX実現に向けた基本方針・GX推進法

- 今後10年間のロードマップ
- 官民GX投資150兆円

2050年CNを成長機会と捉えた変革への挑戦

「北九州GX推進コンソーシアム」設立

加速するGX投資

今後10年間で**150兆円**の官民GX投資

GX実現に向けた重点14分野

エネルギー関連産業

洋上風力
・太陽光・地熱

水素
・燃料アンモニア

次世代
熱エネルギー

原子力

輸送・製造関連産業

自動車・蓄電池

半導体・情報通信

船舶

物流・人流・
土木インフラ

食料・農林水産業

航空機

カーボンリサイクル
・マテリアル

家庭・オフィス関連産業

住宅・建築物・
次世代電力マネジメント

資源循環関連

ライフスタイル関連

未来のために、今から始める !!

国内外のGX投資を呼び込む

北九州学術研究都市の最先端の研究開発

経営層の意識を変える

GXは変革・成長のチャンス

**カーボンニュートラルが
当たり前前の社会に備える**

先手を打ったビジネスモデルの変革

GXの流れにいち早く対応

北九州GX推進コンソーシアム創設

カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、北九州市域の産学官金
オール北九州による「北九州GX推進コンソーシアム」を設立。



↑ 設立総会(令和5年12月12日)

日本製鉄、九州電力、西部ガスなど・参加会員約

190
社

北九州市の優位性

- ものづくり産業の集積、環境分野の先進的な取り組みなどの強みを生かした「グリーンとテクノロジーの掛け合わせ」
- 日本の近代化や環境分野で日本を先導してきた歴史、イノベーションを創出する「一步先の価値観」

北九州市の強みを生かしてGX投資を呼び込む

環境政策、気候変動対策の第一人者!!

北九州GX推進コンソーシアム顧問

東京大学未来ビジョン研究センター



高村ゆかり 教授



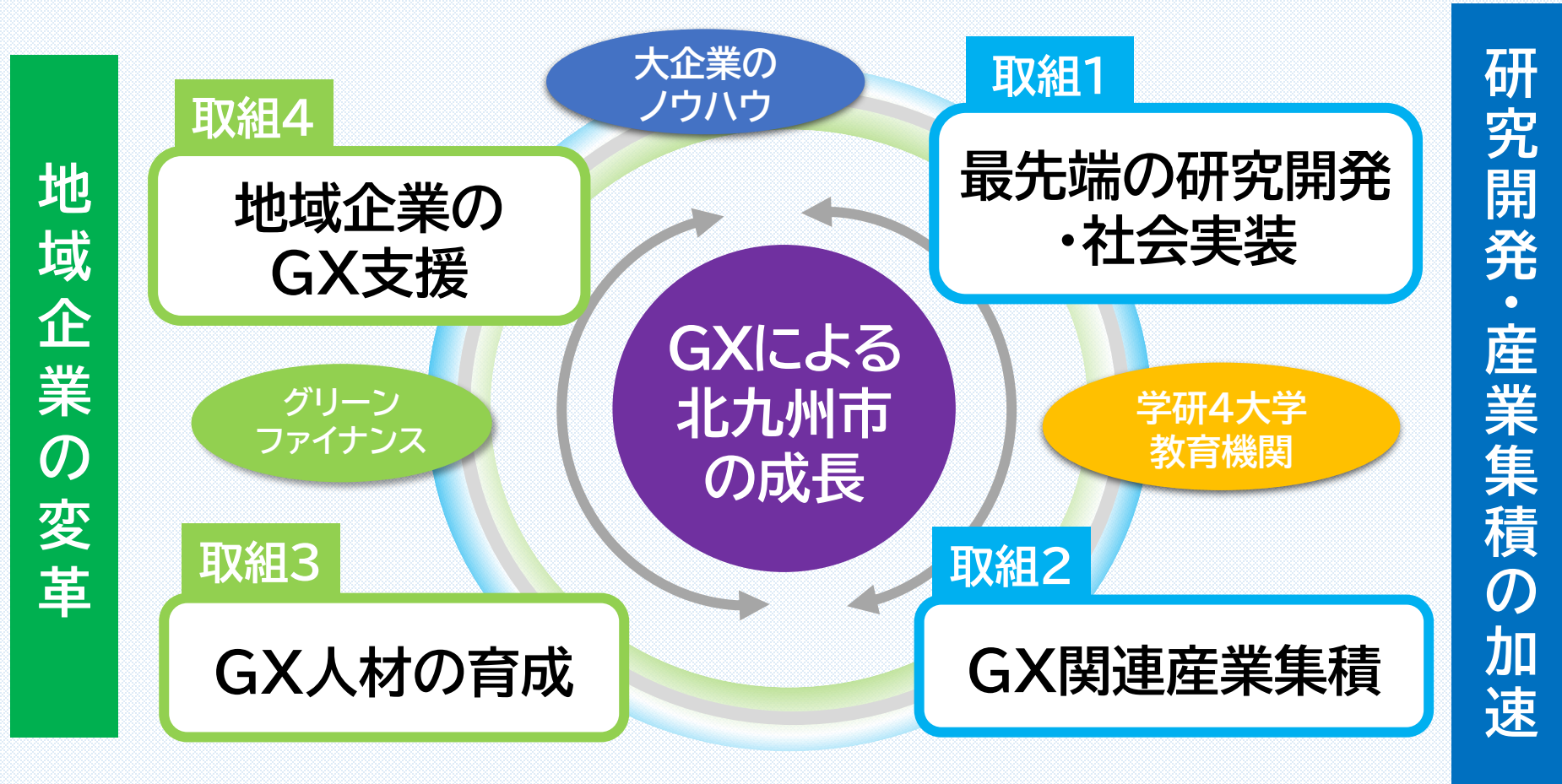
江守正多 教授

最先端の知見を北九州市でも

北九州GX推進コンソーシアムの取組み

ポイント

- 環境系に強い学研の4大学の知見を結集し、研究開発、GX関連産業集積を加速
- 大企業も含めた産学官金のサポートにより地域企業の変革を支援



産学官金オール北九州による推進体制

スタートダッシュの取り組み !!

産学官金
「共創」の場

先端テーマ別研究部会設置

- 次世代熱エネルギー、蓄電池、カーボンサイクル・マテリアルなど

12月12日
スタート

ワンストップ相談窓口開設

- 専門家による伴走支援を実施

全国初

GXビジネススクール開講

- 令和6年1月開講

国内最大
規模

地域企業のCO₂把握支援

- 可視化ツール提供2,000社

GXによる地域企業の変革をコンソーシアムが支援

先端テーマ別研究部会

GX実現に向けた重点14分野を視野に、産官学金共創によるプロジェクト創出につなげる部会を設置

北九州学術研究都市等での研究シーズをさらに発展

例) 次世代熱エネルギー、
カーボンリサイクル・マテリアル部会

会員のニーズを具体化

例) 温室効果ガス算定部会

意欲的な議論から、新たな部会設置へ

部会は随時追加

例) 未来共創部会

新しい技術を社会実装につなげていく「共創」の場を形成

本邦初・経営者向けGXビジネススクールを北九州市で実施

カリキュラム

第1回	GXを捉え、外部対応への準備を整える
第2回	省エネ・再エネの促進
第3回	サプライチェーンを通じた脱炭素化
第4回	DXでGXを実現
第5回	GXを実現するためのビジネスモデル・手段
第6回	GX実現のためのアクションプラン

- 経営層を対象にGXに向けたマインドセット講座を開催
- 講義形式とワークショップを毎回開催

実施時期：令和6年1月19日～3月1日（全6回）

受講者数：15社 27名



ビジネススクール
ワークショップ

各社がアクションプランを作成、脱炭素経営の次のステージへ

地域企業のCO₂把握支援

企業のGXに向けた取り組みの第一歩は、CO₂を把握するところから・・・

北九州GX推進コンソーシアムでは
CO₂ 排出量可視化ツールを
無償提供

※ 希望する市内企業

現在のCO₂見える化ツール
利用企業数
(2024年3月時点)

21
社

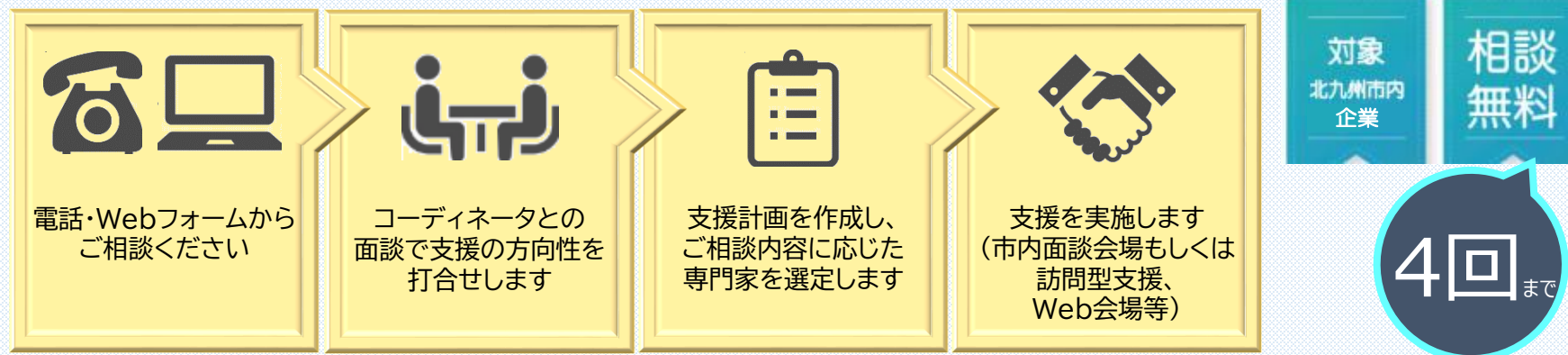


コンソーシアムがアカウントを付与
無償・無期限で使用できます

自社のCO₂を把握して、次のアクションへ

ワンストップ相談窓口・専門家派遣

グリーン成長を目指す企業の相談窓口を設け、
GXの知識・技術を有する「専門家」による伴走支援を実施



現在のところ
5件
相談対応中

《ボードメンバー》：ワンストップ窓口の中心メンバー
・ FAIS、IGES、北九州高専、市、竇結(ワンストップ窓口受託業者)

《専門家》：脱炭素の知見やノウハウを持つ企業群
・ 九州電力、西部ガス、IGES、環境テクノス、メンバーズ、フォーバル、ワイエムコンサルティング、
デンソー九州、ドーワテクノス、三菱UFJフィナンシャルグループ、東京海上日動・・・



専門家による課題解決に向けた伴走支援

ワンストップ相談窓口・専門家派遣

登録専門家（R6.2月末現在）：**15社** ※随時追加中

金融

東京海上日動火災保険会社
【GX推進に伴うリスクマネジメント】

三菱UFJ銀行

三井住友信託銀行

カーボンニュートラルに
向けた改善支援

生産ライン

デンソー九州、ドーワテクノス【IT導入】

ワイエムコンサルティング
【国内外の最新動向、ロードマップ策定】

省エネ・再エネ

九州電力、西部ガス、
エネルギーマネジメント協会
【省エネ補助金】

事業変革・新分野参入
計画策定支援

アップルツリー 【国内外の最新動向】

IT導入
など

アルファコミュニケーションズ

フォーバル 【中小企業の循環経済型ビジネス支援】

メンバーズ

【企業・商品単位のCO2排出量データの算定・可視化】
【循環経済モデルによるサービス開発運用】
【社員・取引先に向けたGX意識改革】
【GX関連取組みの企業情報発信・CSVマーケティング】

日本電通

環境技術など

環境テクノス 【LCA,Jクレジット】

その他

スタートアップ、中小企業支援、企業立地補助・・・

すべてワンストップ
相談窓口で受け付け

地域企業の変革に向けたロードマップ

R 5年度

R 6年度

ステップ1 (気づき)

ステップ2 (準備)

ステップ3 (実行)

セミナー・実践事例紹介

GXエグゼクティブ・
ビジネススクール

CO₂可視化ツール無償提供

ワンストップ相談
専門家による指導
・伴走支援

テーマ別部会設置

R6新規

グリーン成長関連の
事業化支援
(GX補助金等)

ビジネスモデル変革・
新ビジネス展開

ビジネスモデル変革・新ビジネス展開に向けて総合的に支援

北九州市のスタートアップ支援

令和2年2月設立

北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム

目指す将来像

「日本一起業家に優しいまち」をつくり、
ビジネスによるSDGs未来都市を実現する

ミッション

本市の強みである**環境・ロボット・DX分野**を中心に
産学官連携のもと、テック系エコシステムを形成。

ユニコーン企業の創出・スタートアップ件数100社を目指す

北九州GX推進コンソーシアムのこれまでの成果



熱のカーボンニュートラルへ挑戦!!

IHI、日本IBMと熱マネジメント実証に着手
(R6年1月18日発表)

北九州市での生産活動再開は17年ぶり!!

AGCが水素製造関連製品の新プラント建設決定
(150億円、R6年1月30日発表)

全国3拠点の1つ!!

メンバーズが「地域脱炭素DXセンター」を開設
(R6年1月31日発表)



GXを推進し、北九州市を「稼げるまち」へ